品川学園ＣＳだより

コミュニティ・スクールの取組

SHINAGAWA GAKUEN

≪ ６組 探究学習/米作り ≫

９月 17 日に講師に池田俊太様をお招きし、探究学習の第２回目を行いました。

子供たちは、６月に行った第１回目の苗植えから稲の成長の変化を楽しみに、毎日観察を行ってきました。９月半ばには小さい緑色の稲穂が見られるようになり、その後、稲穂が日々膨らみ、やがて金色に成長しました。

授業では違う条件による生育の差を確認したり、稲を狙う雀の被害対策について、タブレットで調べ意見を出し合いました。黒いビニールで作ったカラスを吊り下げたり、お米のプランターをお米ハウスの中に集めるなどで、雀から稲を守っています。

















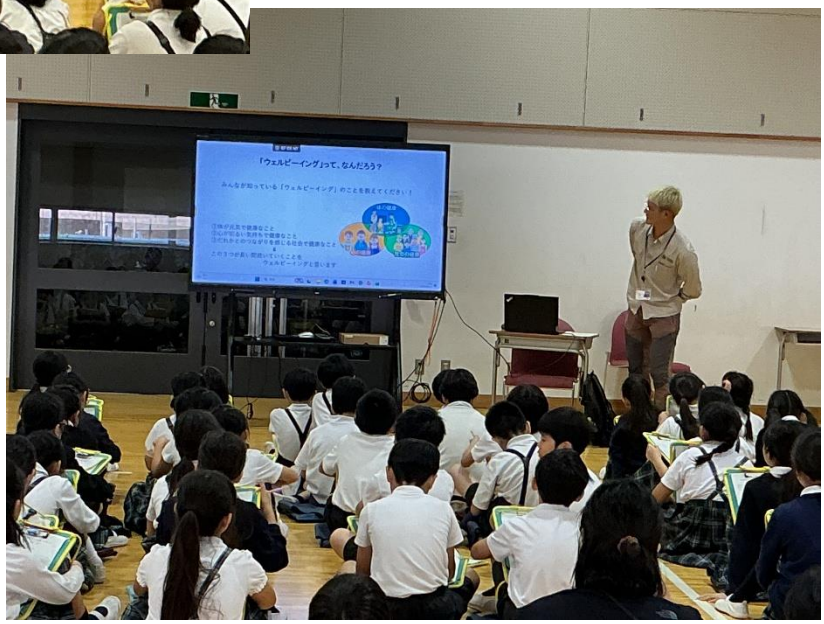
≪　３年 探究学習/職業を通したウェルビーイング　≫

　９月１７日に、市民科一貫プランの探究学習の講師として池田俊太様に、造園業の仕事を通して感じるウェルビーイングについて話していただきました。池田様が「仕事の内容」や「工夫している事柄」「頑張っていることがウェルビーイングな気持ちにつながっていること」について話すと、子どもたちは、ワークシートにメモを取りながら、熱心に話を聴き、質問も多くしていました。

　授業を終え、実際に花壇に何かを育ててみたいと思った子どもたちの「畑チーム」が結成されました。植物・作物について意見・希望を出し、これからの季節に合ったもの５品目（チューリップ、ホウレンソウ、イチゴ、品川カブ、ダイコン）を池田様に選んでいただきました。

　現在、４０名の児童が畑チームに参加を希望しています。





≪　２年生 品川かぶを育てよう　≫

９月 25 日に、NPO 法人東海道品川宿なすびの花 理事長の大塚好雄様を講師にお招きし、江戸野菜のひとつである『品川かぶ』について学びました。子どもたちは、大塚様から品川かぶが２００年以上の歴史を持つ野菜であることを聞き、目を輝かせて資料のモニターを見入っていました。その後、学園の畑に「大きくなあれ」と呪文を唱えながら品川かぶの種をまきました。今年の夏は記録的な長雨で、初めての水やりが種まきから 18 日後となりました。久々に畑に足を運んだ子どもたちは、すでに小さな芽が出ていることに気づくと「おおきくなあれ」「おいしくなあれ」と喜んでいました。



